

平成27年3月の 第3次産業と鉱工業の概況

平成27年5月18日

経済解析室

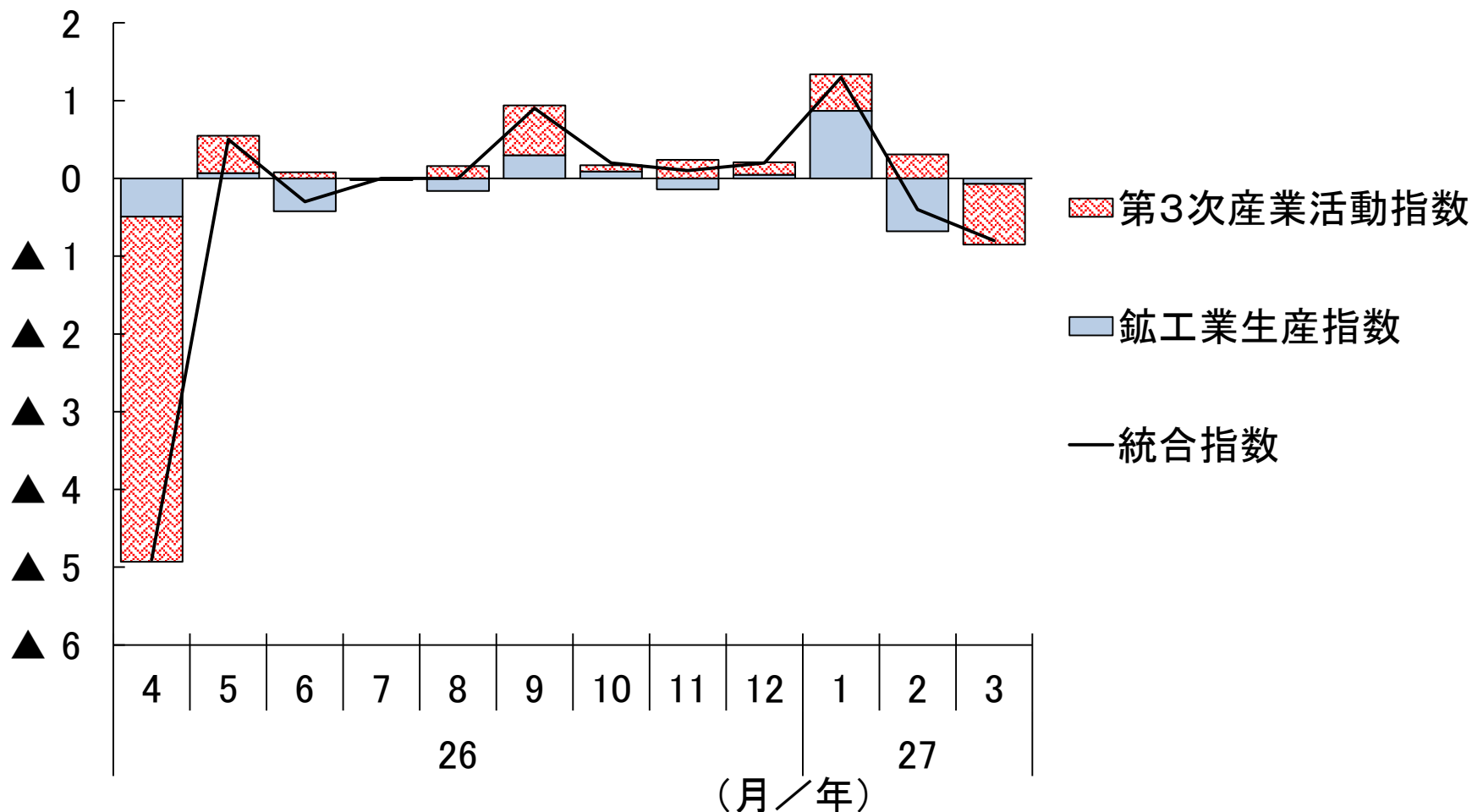
第3次産業活動指数URL: <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

鉱工業指数URL: <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

統合指数(試算値)に対する産業別寄与度分解

- 平成27年3月の統合指数(前月比、季節調整済)は、第3次産業活動と鉱工業生産がともに低下したため、前月比▲0.9%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



平成27年3月 第3次産業活動指数の状況

月次(H27年3月)	第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
季調済指数	99.5	104.6	95.3
前月比	▲ 1.0%	▲ 0.2%	▲ 1.8%
指数水準	H26.12 99.5以来 ①H23.3 94.0 ②H21.3 94.4 ③H15.4 95.3	H26.12 104.5以来 ①H23.3 95.8 ②H15.4 97.0 ③H15.2 97.2	H26.10 95.3以来 ①H21.3 92.5 ②H23.3 93.0 ③H21.12、H22.3、H26.4 93.5
前月比の動き	11か月ぶり▲ (H26.4以来) (H26.7の0.0をはさむ)	2か月連続▲ (H27.2～当月)	11か月ぶり▲ (H26.4以来) (H26.7、8の0.0をはさむ)
前月比幅	H26.4 ▲5.6%以来 ①H26.4 ▲5.6% ②H23.3 ▲5.4% ③H21.3 ▲3.4%	H27.2 ▲0.2%タイ H26.10 ▲0.7%以来 ①H23.3 ▲6.3% ②H26.4 ▲5.6% ③H19.7 ▲1.2%	H26.4 ▲5.5%以来 ①H26.4 ▲5.5% ②H21.3 ▲4.9% ③H23.3 ▲3.7%
原指数 前年同月比	▲ 2.7%	▲ 3.5%	▲ 2.2%
前年同月比の動き	12か月連続▲ (H26.4～当月)	2か月ぶり▲ (H27.1以来)	12か月連続▲ (H26.4～当月)
前年同月比幅	H26.8 ▲2.7%タイ H23.3 ▲3.4%以来 ①H21.3 ▲7.7% ②H21.2 ▲7.4% ③H21.5 ▲7.1%	H23.3 ▲5.6%以来 ①H23.3 ▲5.6% ②H27.3 ▲3.5% ③H21.2 ▲3.2%	H26.11 ▲3.1%以来 ①H21.3 ▲11.6% ②H21.5 ▲11.5% ③H21.4 ▲10.3%

1) ▲はマイナス

2) ローマ数字のデータは平成17年基準における最大値からのもの、○数字は最小値からのもの

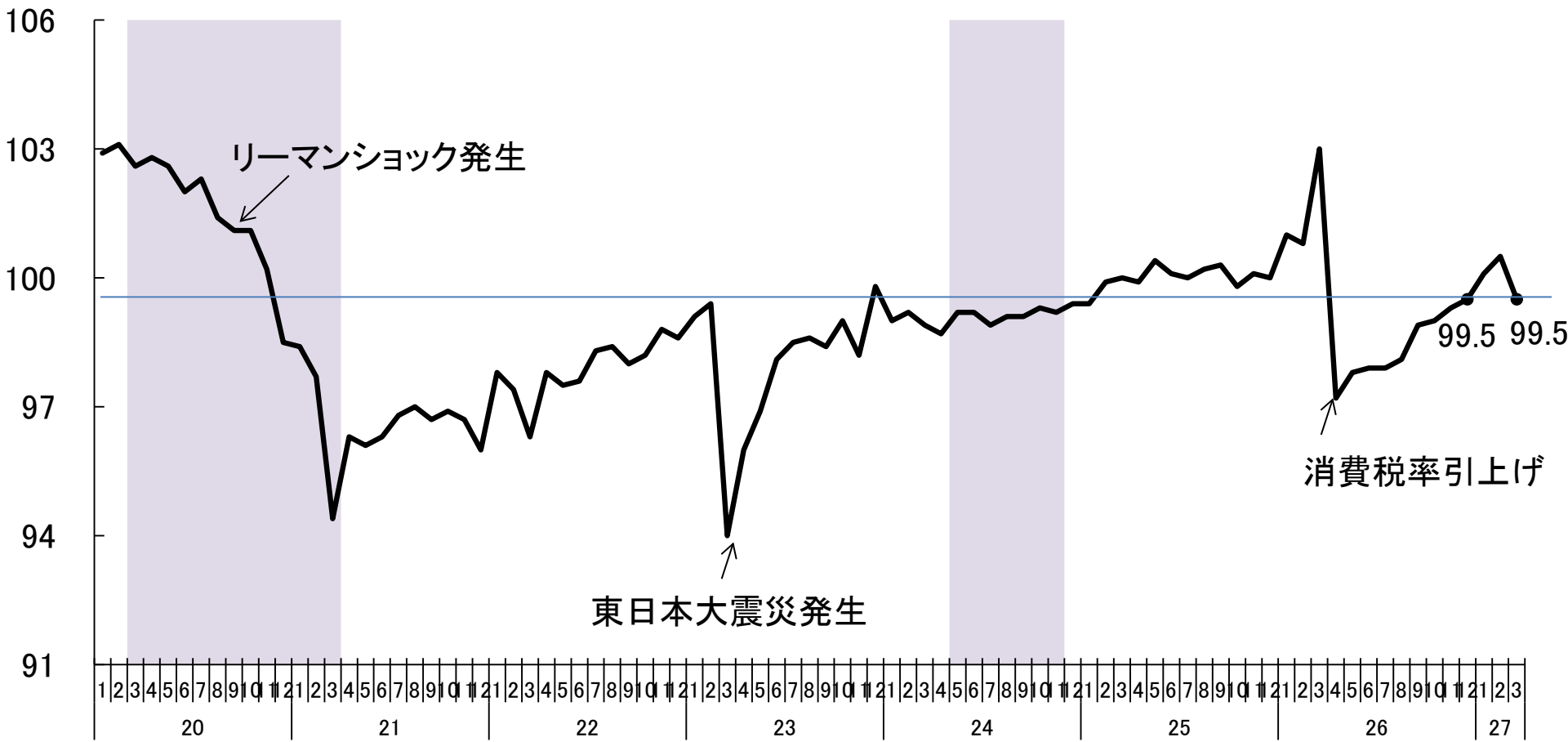
3) 【】内は平成17年基準以外

○第3次産業活動指数(ITA)

第3次産業活動指数の動向

- 平成27年3月の第3次産業活動指数は99.5(前月比▲1.0%)の低下。
- 平成26年12月の99.5以来の指数水準。

(17年=100、季節調整済)



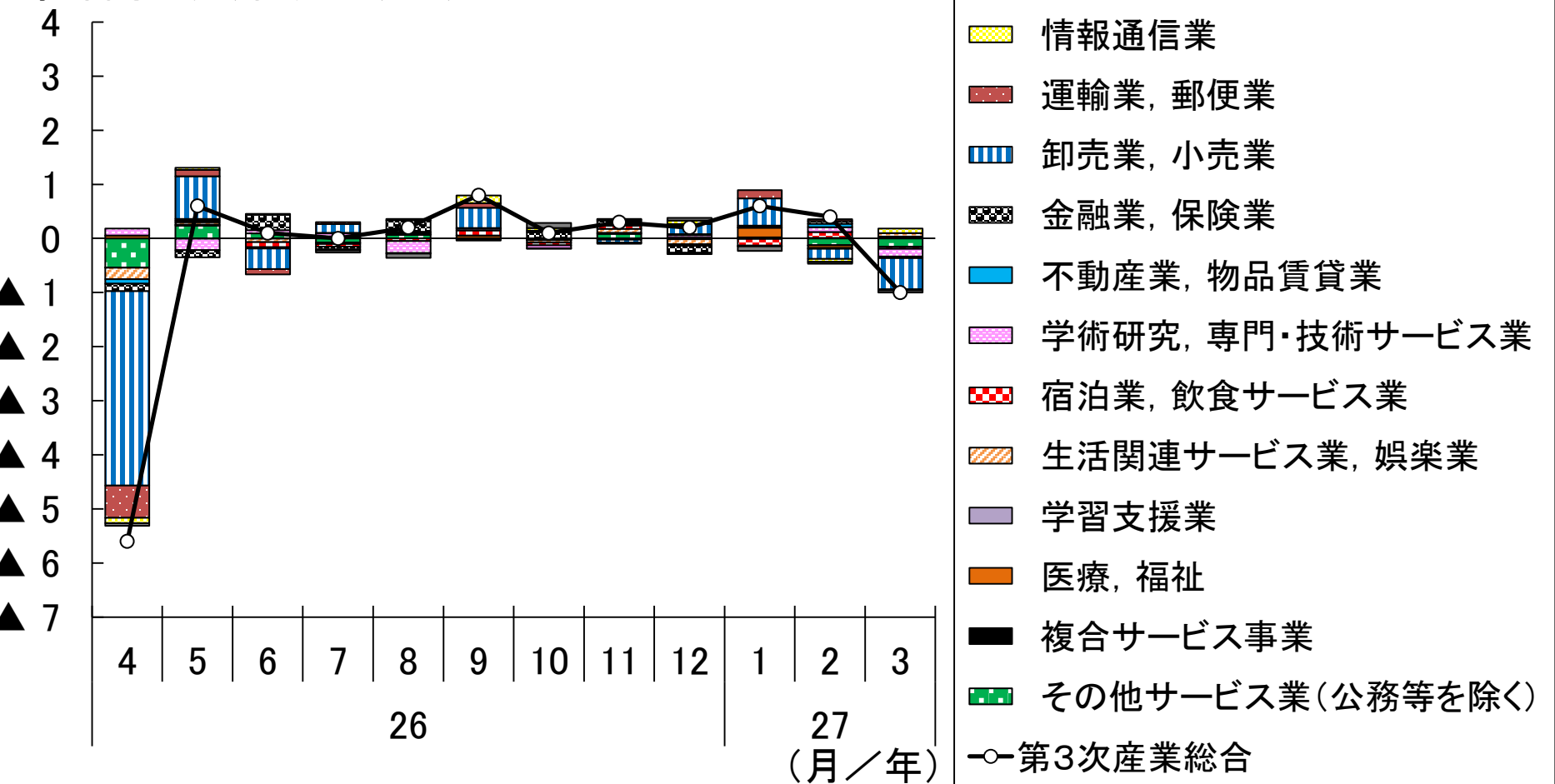
(注)1. シャド一部分は景気後退局面。平成24年5月～11月は暫定。

(月/年)

3月の第3次産業活動指数の業種別寄与度分解

- 平成27年3月の第3次産業活動指数(前月比、季節調整済)は、卸売業、小売業、その他サービス業(公務等を除く)、学術研究、専門・技術サービス業などが低下したため、前月比▲1.0%の低下。

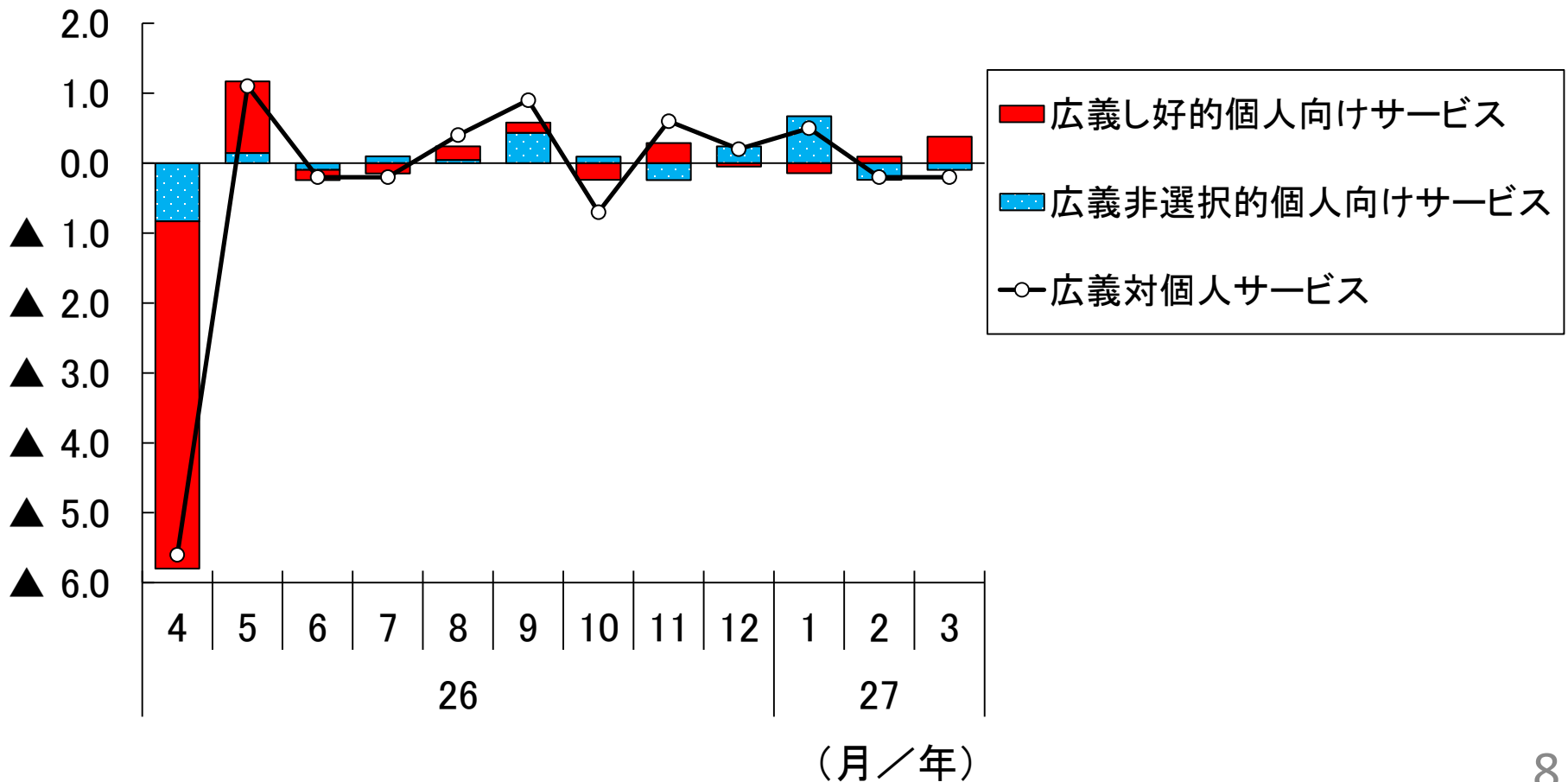
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



広義対個人サービスの内訳寄与

- 平成27年3月の広義対個人サービスは、し好的個人向けサービスが上昇したものの、非選択的個人向けサービスが低下したため、前月比▲0.2%低下した。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



し好的個人向けサービスの変動寄与系列

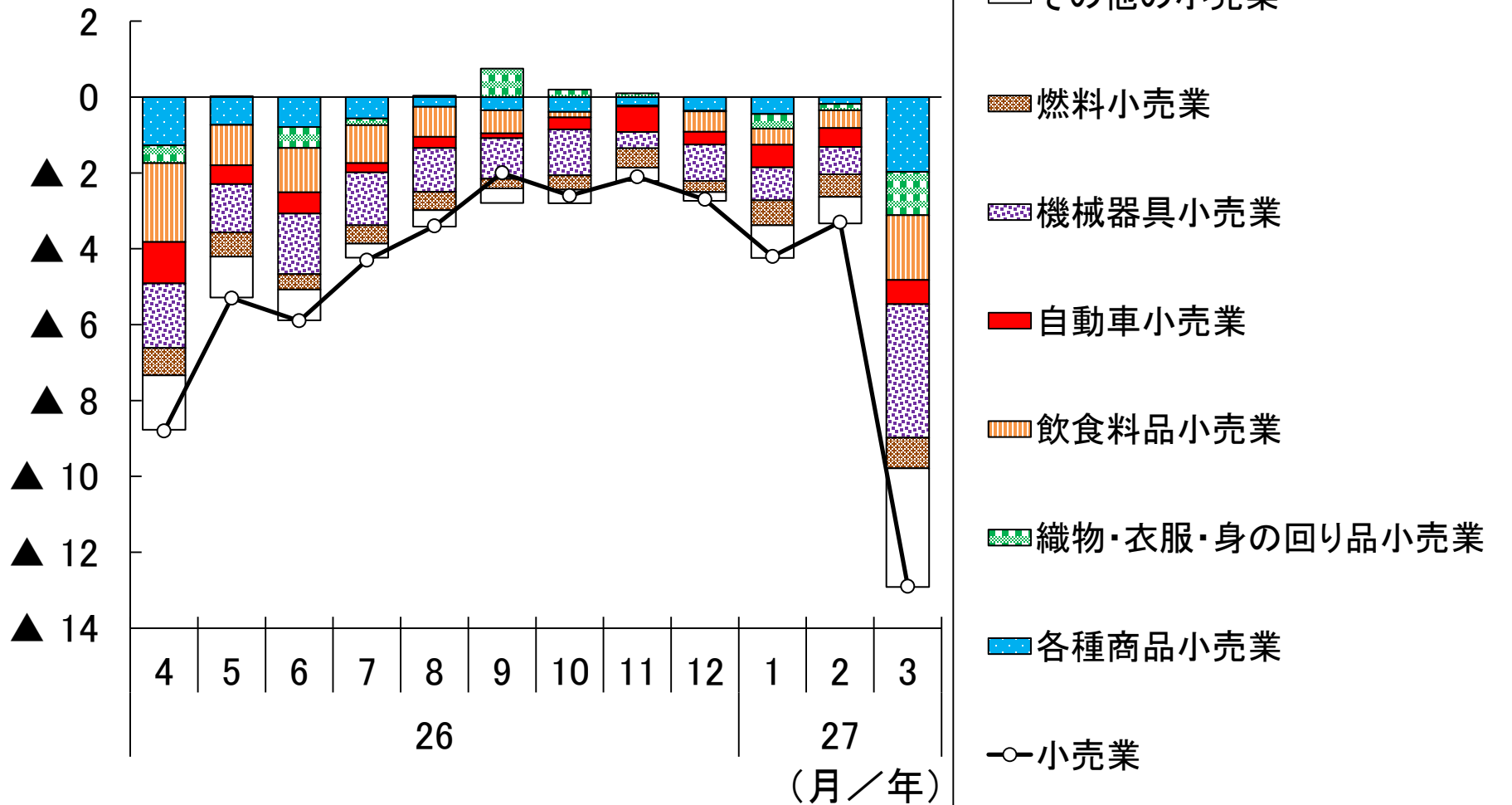
平成27年3月の第3次産業活動指数のうち、し好的サービスの寄与の大きいサービスの系列は次のとおりである。

名 称	平成27年3月分	前月比
食堂、レストラン、専門店	107.5	3.3
機械器具小売業	238.8	4.6
結婚式場業	52.1	27.4
興行団	124.8	13.5
マンション分譲業	59.0	18.7

小売業活動指数の業種別寄与度分解

- 平成27年3月の小売業活動指数(前年同月比)は、機械器具小売業、その他の小売業、各種商品小売業などが減少したため、前年同月比▲12.9%の低下。

(前年同月比、%、%ポイント)



平成27年3月 稼働率・生産能力指数の状況

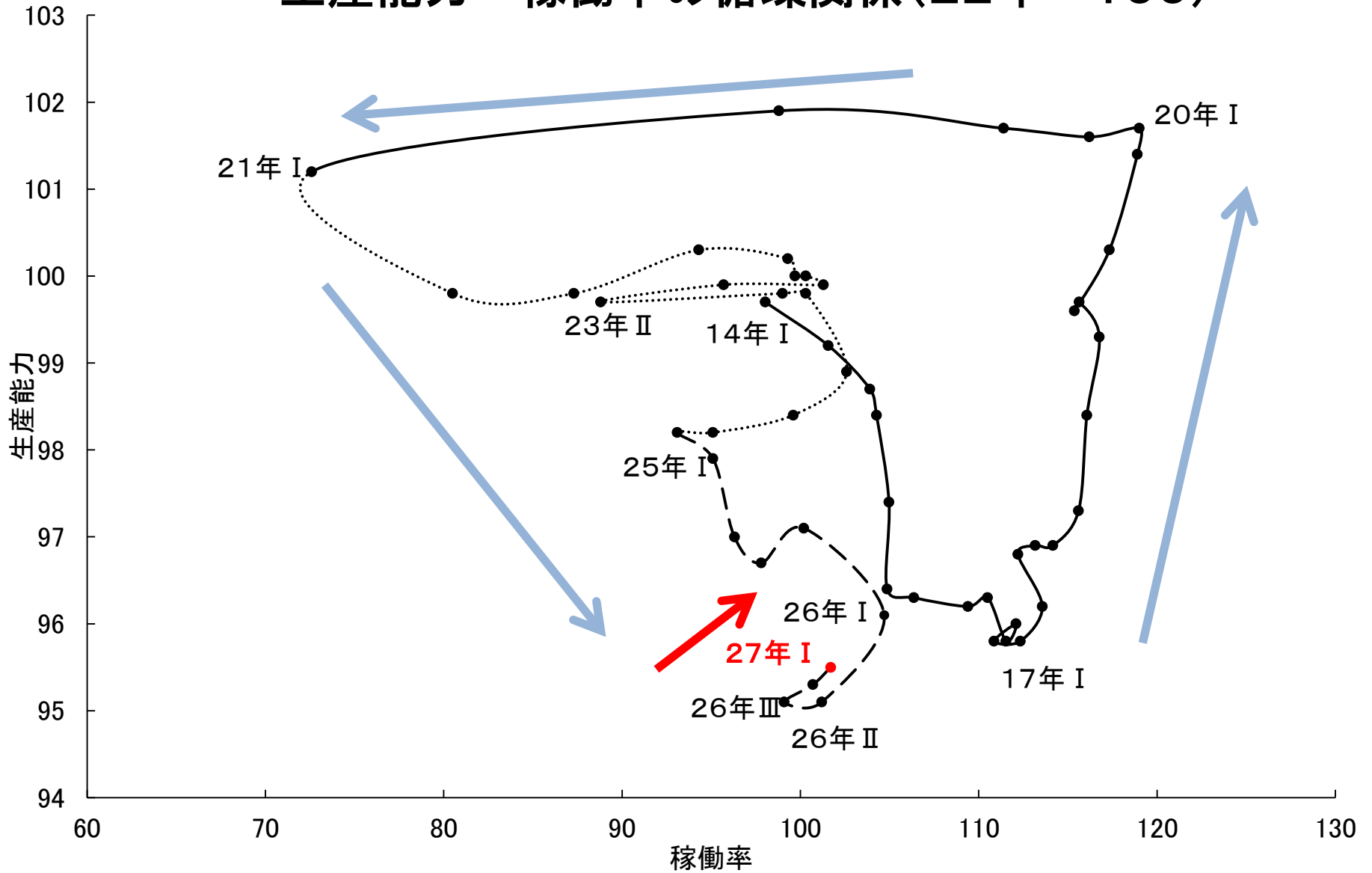
月次 (H27年3月)	稼働率	能力
季調済指数	99.8	95.5(原指数)
前月比	▲ 1.2%	▲ 0.1%
指数水準	H26.8 98.3以来 ①H21.2 69.3 ②H21.3 70.3 ③H21.4 77.2	22年基準⑤ ④ H26.12 95.3以来 ①H26.7, 8 95.0 ②H26.6, 9 95.1 ③H26.4, 10, 11 95.2
前月比の動き	2か月連続▲ (H27.2～当月)	8か月ぶり▲ (H26.7以来)
前月比幅	H27.2 ▲3.2%以来 ①H23.3 ▲21.7% ②H21.1 ▲12.0% ③H21.2 ▲11.3%	H26.7 ▲0.1%以来 (超) H26.6 ▲0.2%以来 ①H21.4 ▲1.2% ②H26.1 ▲1.1% ③H24.1, H26.4 ▲0.9%
原指数 前年同月比	▲ 2.7%	▲ 0.6%
前年同月比の動き	3か月連続▲ (H27.1～当月) ・直近で3か月以上連続▲ (H24.8～H25.6 11か月連続▲)	41か月連続▲ (H23.11～当月) 54か月連続+なし (H22.10～当月) ・直近で41か月以上連続▲ 【H11.2～H17.4 75か月連続▲】
前年同月比幅	H27.2 ▲2.7%以来 (超) H27.1 ▲3.3%以来 ①H21.2 ▲43.9% ②H21.3 ▲40.5% ③H21.1 ▲35.0%	H26.12 ▲1.9%以来 ①H21.7, 8, H26.11 ▲2.1% ②H26.1, 2, 4, 6, 10 ▲2.0% ③H21.9, H26.12 ▲1.9%

1) ▲はマイナス

2) ローマ数字のデータは22年基準における最大値からのもの、○数字は最小値からのもの

3) 【 】内は平成22年基準以外

生産能力－稼働率の循環関係(22年=100)

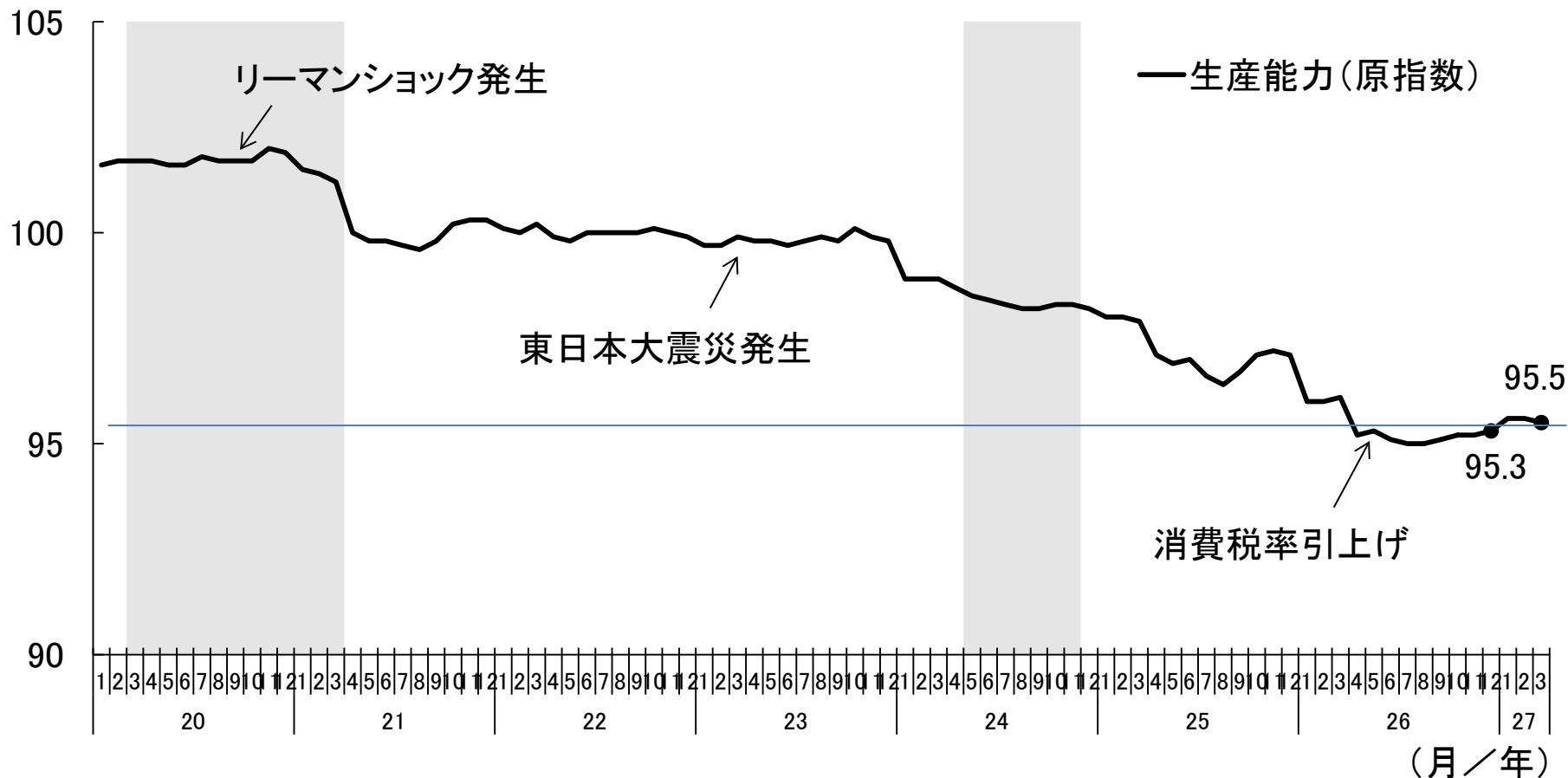


注: 生産能力指数は期末(27年3月末)。

製造工業生産能力指数の動向

- 平成27年3月の生産能力指数は95.5(前月比▲0.1%)と8か月ぶりの低下。
- 平成26年12月の95.3以来の水準。

(22年=100)

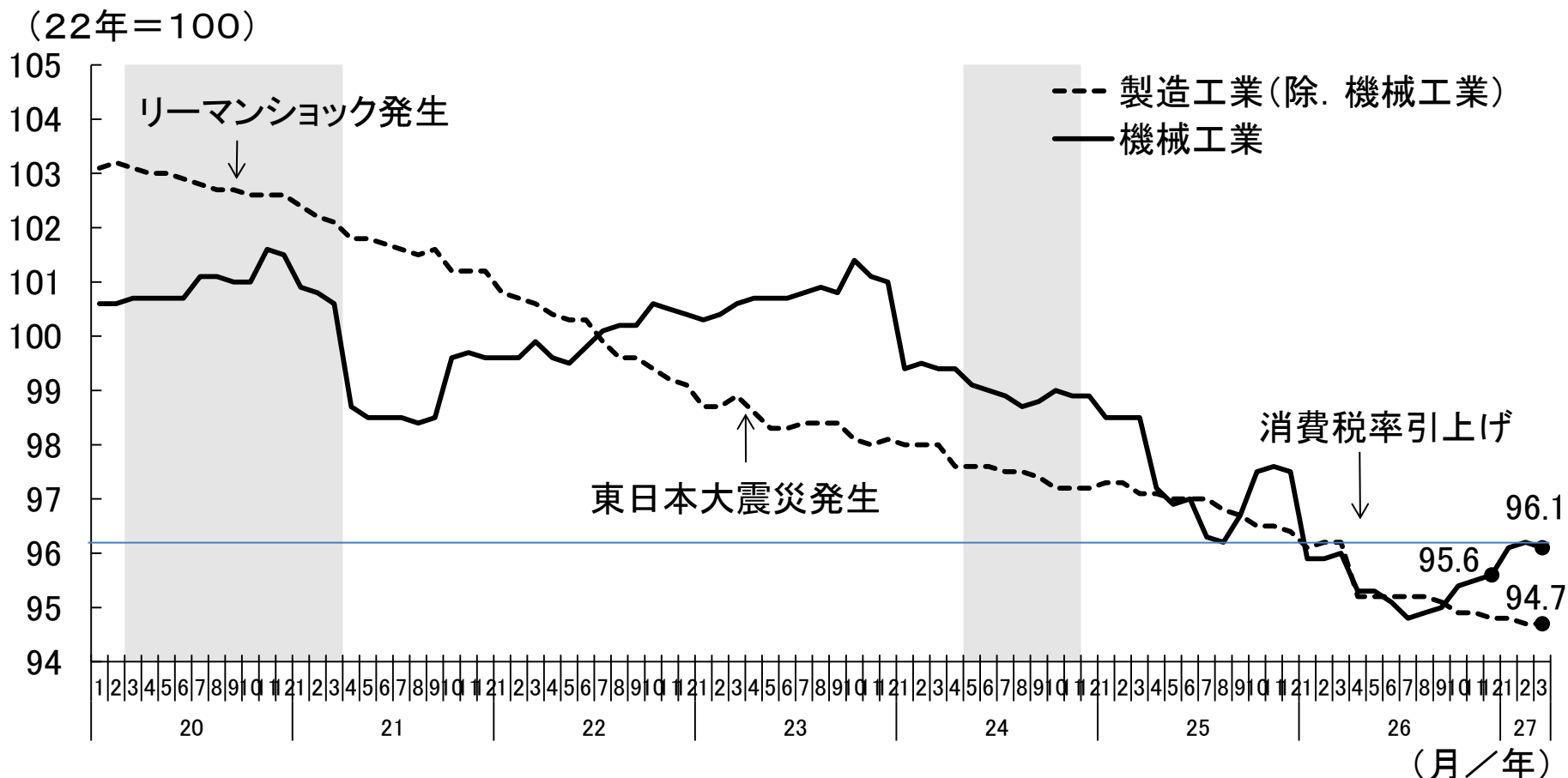


(注) 1. 製造工業生産能力指数とは、月々の製造工業の生産能力を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもの。

2. シャド一部分は景気後退局面。24年5月~11月は暫定。

製造工業(除.機械工業)と機械工業の生産能力指数の動向

- 平成27年3月の機械工業は96.1(前月比▲0.1%)と8か月ぶりの低下。平成26年12月の95.6以来の水準。
- 一方、平成27年3月の製造工業(除.機械工業)は、94.7(前月比0.0%)と横ばい。

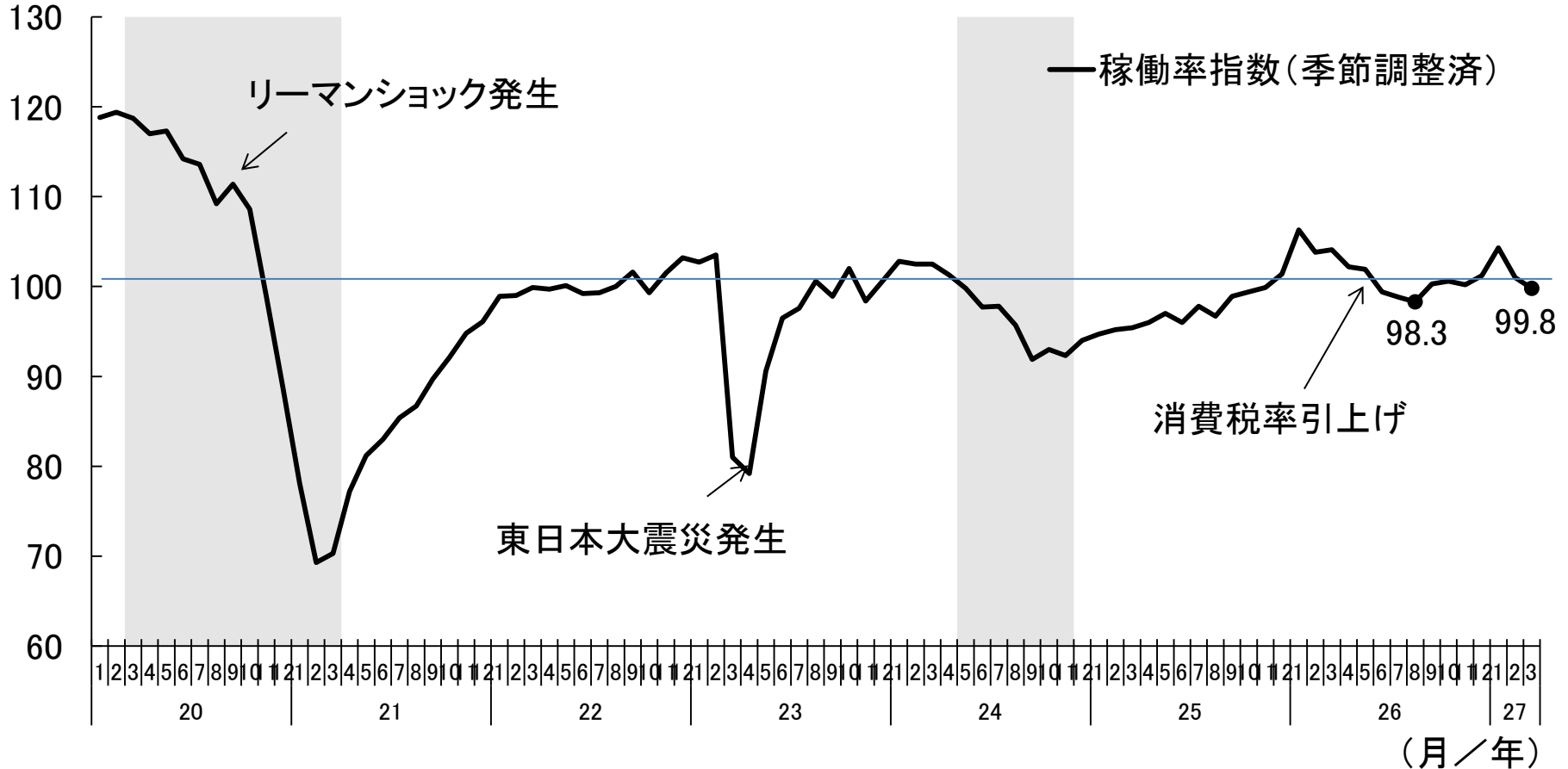


(注)シャド一部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。

製造工業稼働率指数の動向

- 平成27年3月の稼働率指数は99.8(前月比▲1.2%)と2か月連続の低下。
- 平成26年8月の98.3以来の指数水準。

(22年=100)

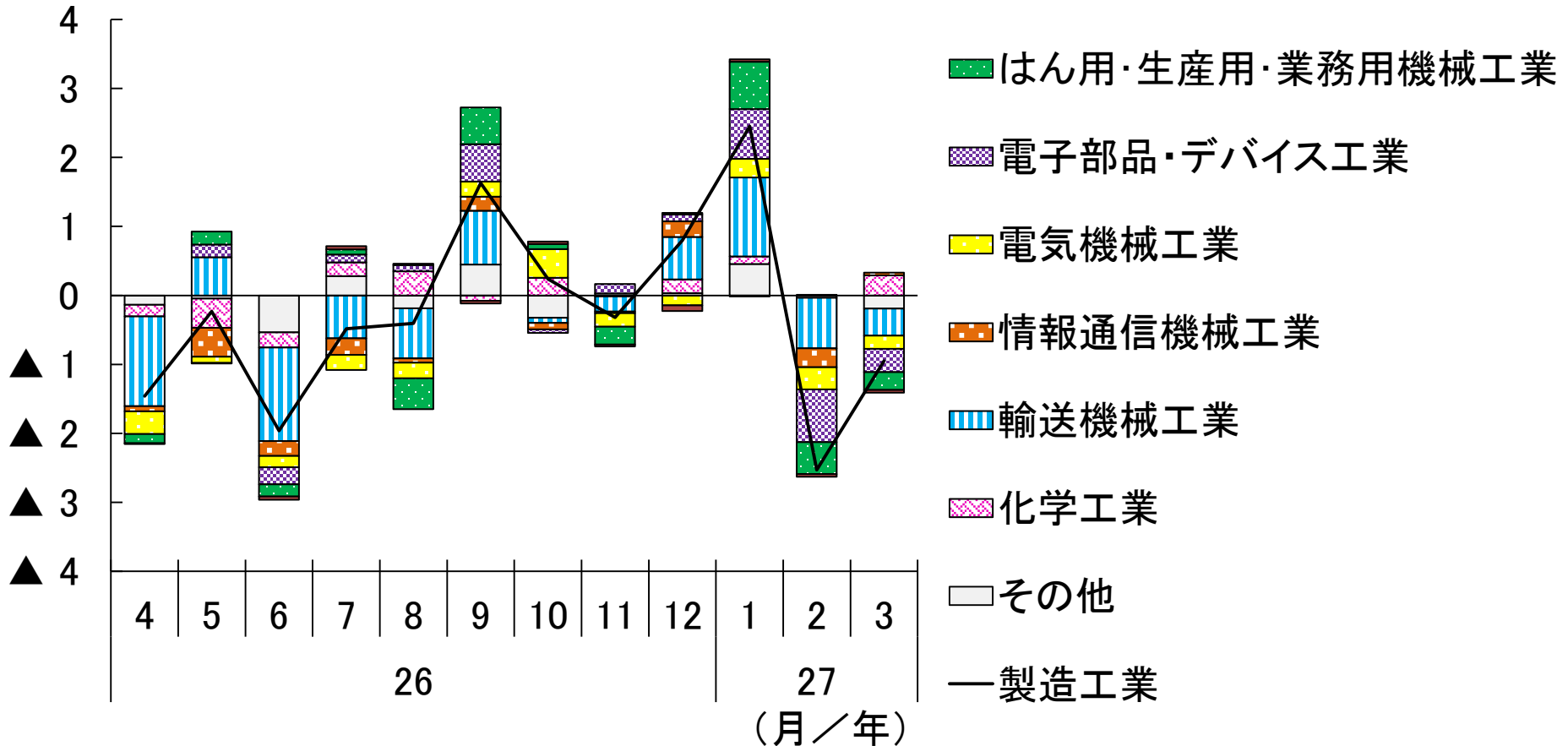


(注) 1. 製造工業稼働率指数とは、月々の製造工業の稼働率を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもの。
2. シャド一部分は景気後退局面。24年5月~11月は暫定。

稼働率指数への業種別寄与度分解

- 平成27年3月の稼働率指数(前月比、季節調整済)は、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業などが低下したため、前月比▲1.2%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

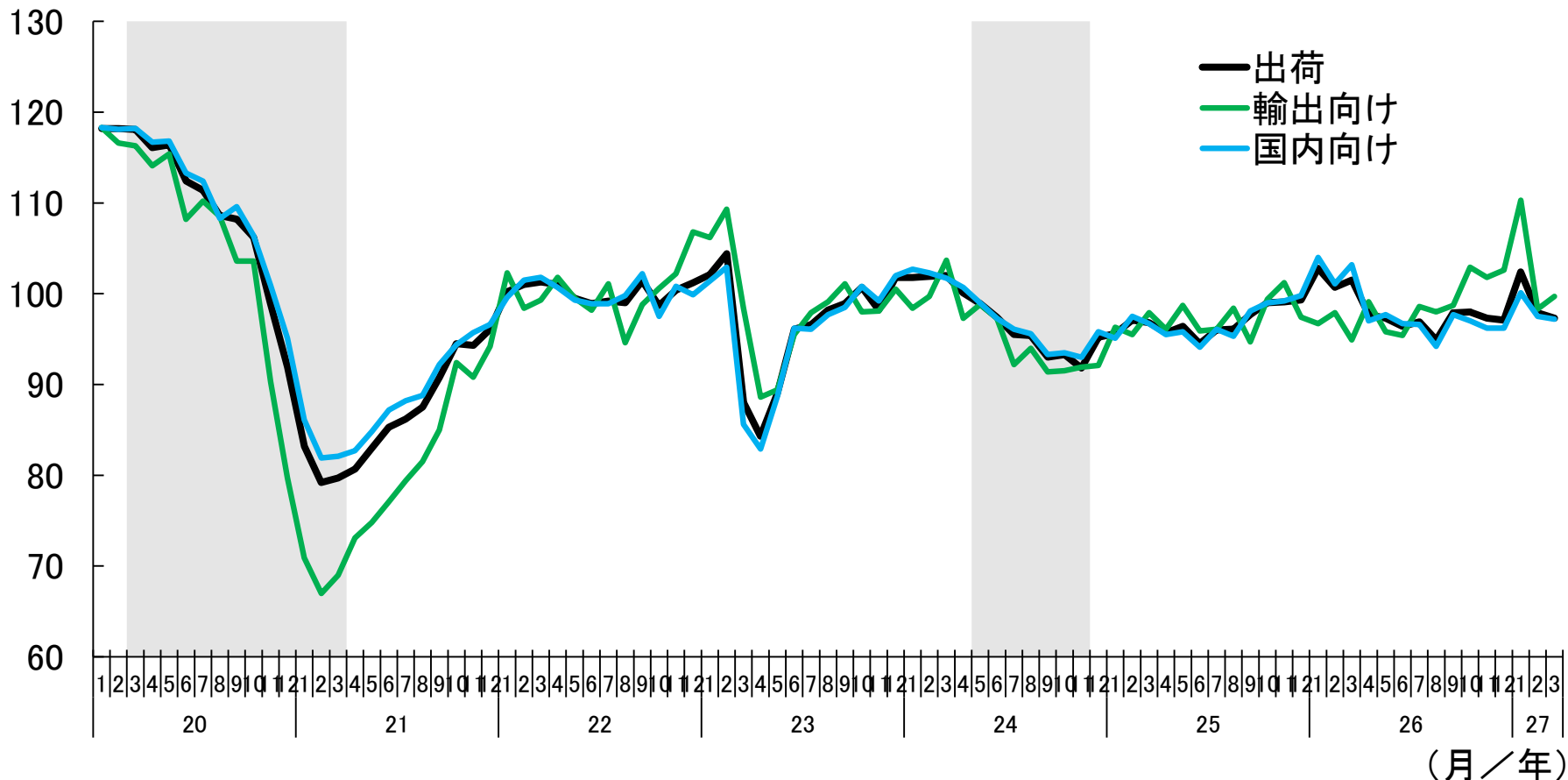


注:その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、その他工業が含まれる。

出荷内訳表の動向

- 平成27年3月の出荷は97.3(前月比▲0.6%)と2か月連続の低下。
- 内訳をみると、輸出向けは99.7(同1.4%)と2か月ぶりの上昇となったものの、国内向けは97.2(同▲0.3%)と2か月連続の低下となった。

(22年=100、季節調整済)

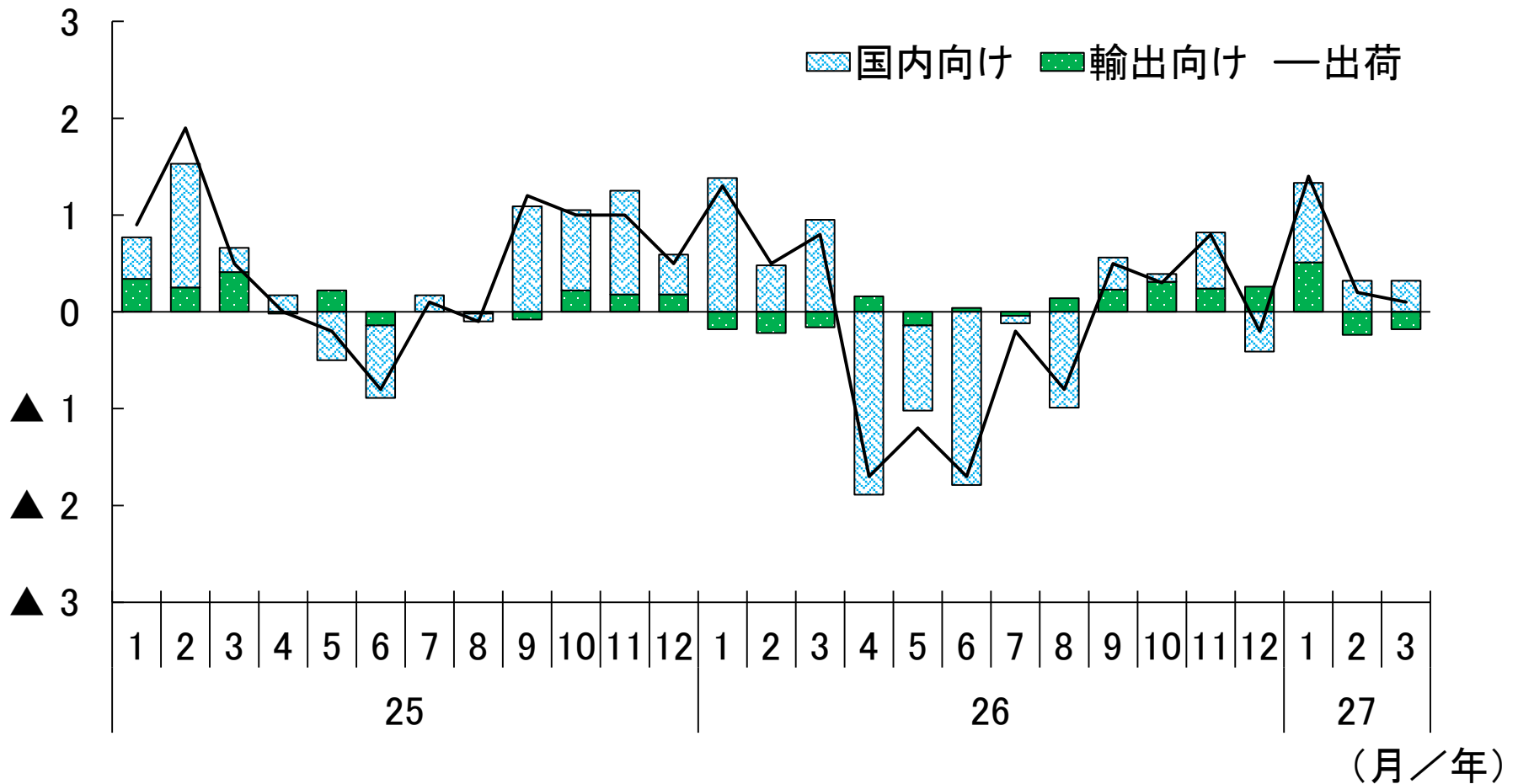


(注)シャドー部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。

出荷内訳表(後方3か月移動平均・前月比寄与度)の動向

- 後方3か月移動平均で均してみると、平成27年3月の輸出向けは低下に寄与(前月比寄与度▲0.18)したものの、国内向けが上昇に寄与(同0.32)したことから、出荷全体の前月比は0.1%上昇。

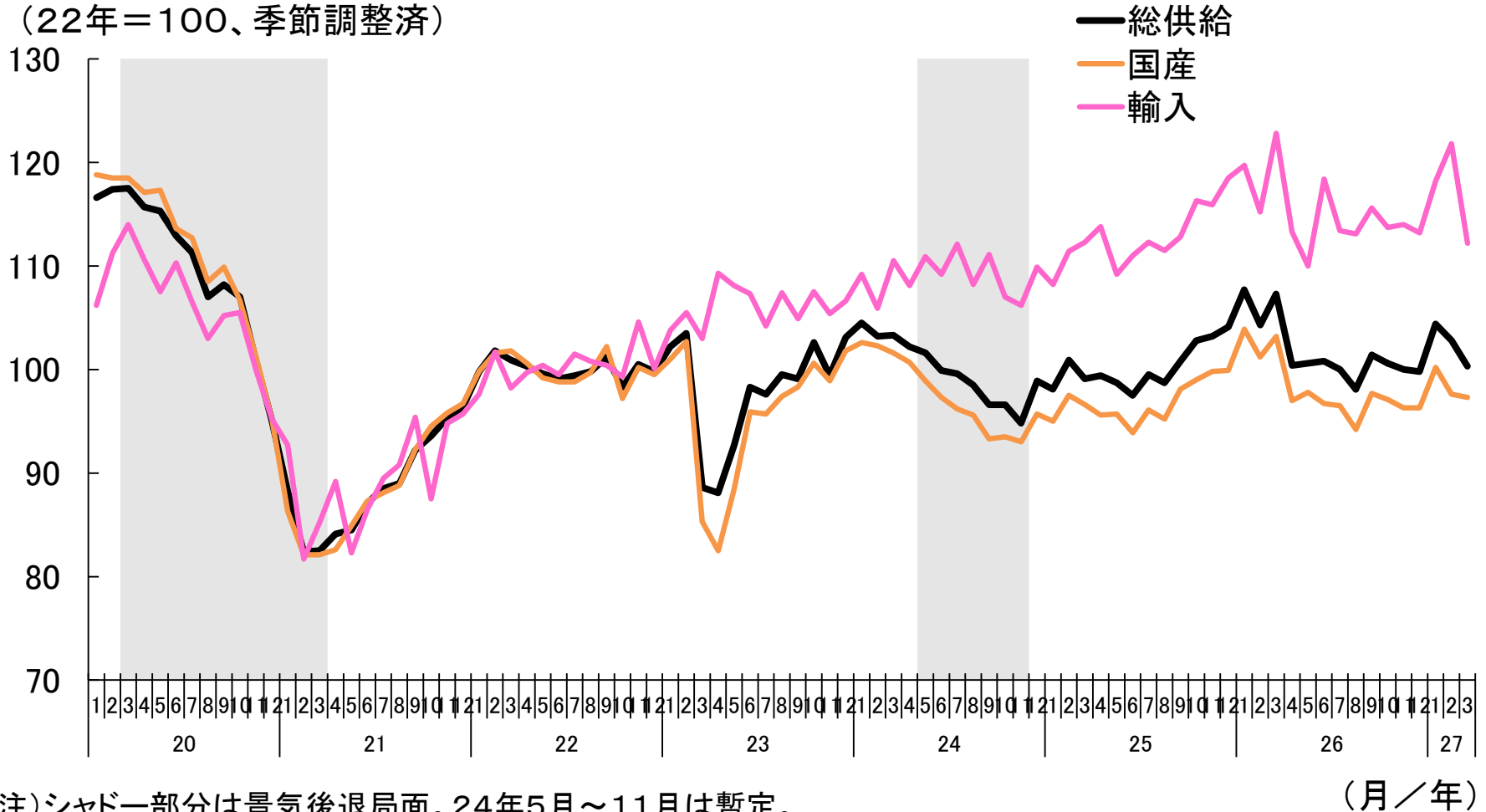
(後方3か月移動平均・季節調整済、前月比、%、%ポイント)



総供給表の動向

- 平成26年3月の総供給は100.3(前月比▲2.4%)と2か月連続の低下。
- 内訳をみると、輸入は112.2(同▲7.9%)と3か月ぶりの低下、国産は97.3(同▲0.3%)と2か月連続の低下。

(22年=100、季節調整済)



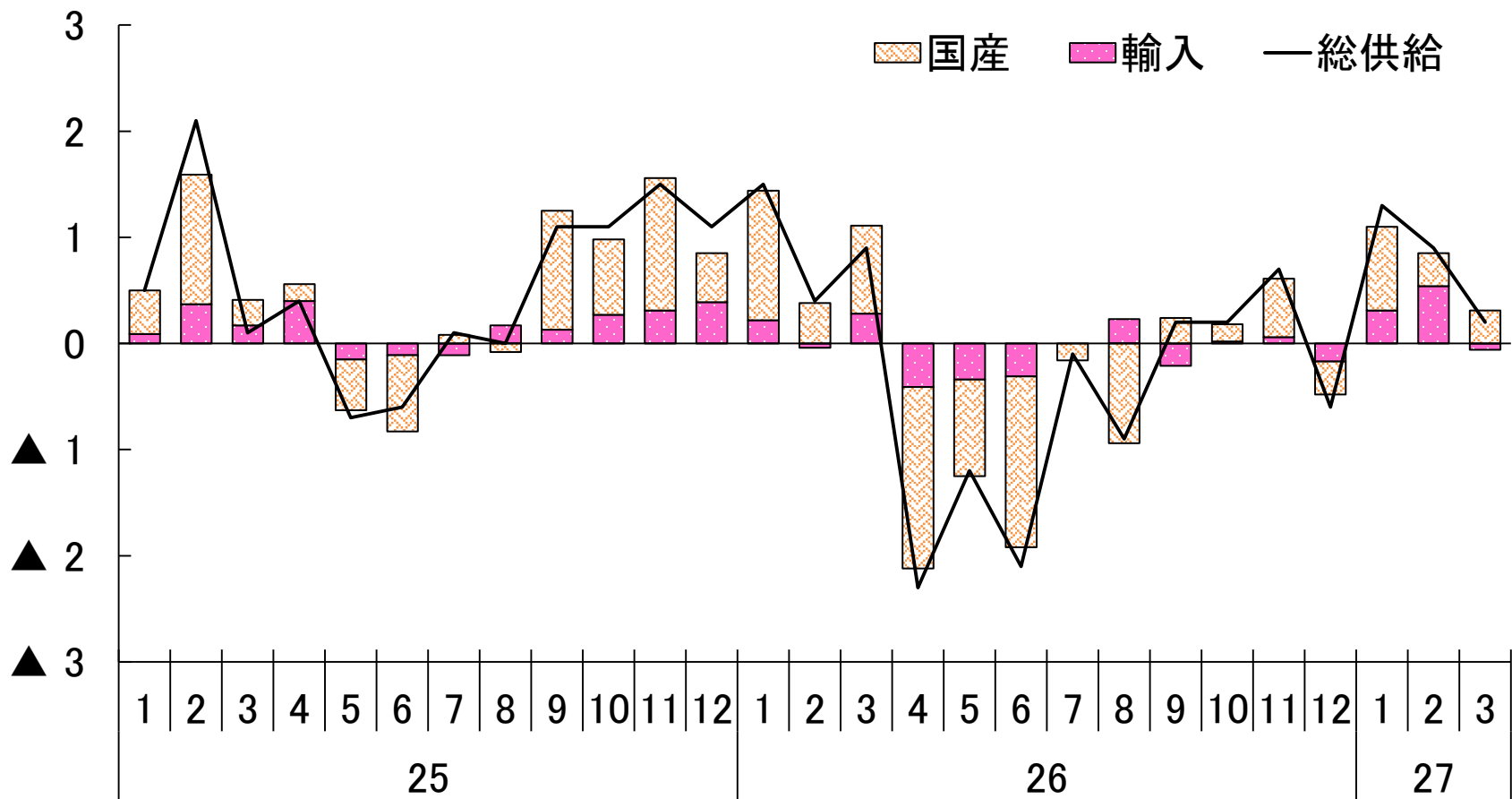
(注)シャド一部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。

(月/年)

総供給表(後方3か月移動平均・前月比)の動向

- 後方3か月移動平均で均してみると、平成27年3月は、輸入が低下に寄与(前月比寄与度▲0.06)したものの、国産が上昇に寄与(同0.31)したため、総供給全体の前月比は0.2%上昇。

(後方3か月移動平均・季節調整済、前月比、%、%ポイント)



平成27年3月(確報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次 (H27年3月)	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	98.1	97.3	113.4	114.4
前月比	▲ 0.8%	▲ 0.6%	0.4%	0.9%
指数水準	H26.12 98.1以来 (超) H26.11 97.9以来 ①H21.2 76.6 ②H21.3 77.6 ③H21.4 81.0	H26.12 97.1以来 ①H21.2 79.2 ②H21.3 79.7 ③H21.4 80.7	H21.2 114.8以来 I H20.12 119.8 II H21.1 119.5 III H20.11 119.1	H26.11 116.1以来 I H21.2 155.6 II H21.1 150.2 III H21.3 146.3
前月比の動き	2か月連続▲ (H27.2～当月)	2か月連続▲ (H27.2～当月)	2か月連続＋ (H27.2～当月)	2か月連続＋ (H27.2～当月)
前月比幅	H27.2 ▲3.1%以来 ①H23.3 ▲16.5% ②H21.1 ▲8.8% ③H21.2 ▲8.6%	H27.2 ▲4.4%以来 ①H23.3 ▲15.7% ②H21.1 ▲9.5% ③H20.12 ▲7.1%	H27.2 1.1%以来 I H23.5 4.7% II H24.3 2.5% III H22.12,H23.4 2.3%	H27.2 4.0%以来 I H20.11 13.2% II H20.12 9.9% III H21.1 9.8%
原指数 前年同月比	▲ 1.7%	▲ 2.3%	6.2%	8.6%
前年同月比の動き	6か月連続▲ (H26.10～当月) ・直近で6ヶ月以上連続▲ 11か月連続＋ (H24.8～H25.6)	6か月連続▲ (H26.10～当月) ・直近で6ヶ月以上連続▲ 11か月連続＋ (H24.8～H25.6)	11か月連続＋ (H26.5～当月) ・直近で11ヶ月以上連続＋ 22か月連続＋ (H23.5～H25.2)	11か月連続＋ (H26.5～当月) ・直近で11ヶ月以上連続＋ 13か月連続＋ (H23.3～H24.3)
前年同月比幅	H27.2 ▲2.0%以来 ①H21.2 ▲37.2% ②H21.3 ▲32.7% ③H21.4 ▲30.0%	H27.2 ▲2.9%以来 ①H21.2 ▲36.1% ②H21.3 ▲32.1% ③H21.1 ▲30.9%	H27.2 7.0%以来 I H24.3, 4 12.1% II H23.8 9.0% III H23.9 8.1%	H27.2 8.8%以来 I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

- ▲はマイナス
- ローマ数字のデータは22年基準における最大値からのもの、○数字は最小値からのもの
- 【 】内は平成22年基準以外